

第22回 夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013 御礼

2013年8月9日
男子監督 柴田 英輝

残暑の候、皆様におかれましては、ますますご隆盛のことと大慶に存じます。

この度の第22回デフリンピック ソフィア大会につきまして、ご支援ご声援賜り誠にありがとうございました。スタッフ・選手一丸となって戦いましたが、目標には届かず14位という結果で大会を終えました。

監督として選手を世界王者に導くことができなかつたこと、協会スタッフ・全国のろう者サッカー日本代表を応援してくださっている方々の期待に応えられなかつたことを申し訳なく思っております。

大会を振り返りかえると、あと一步の差で勝利を逃した試合ばかりでした。この「一步」が世界との差、「個」の力の差を感じました。しかし、全試合で得点をあげることができたことは、今後の明るい材料だと感じています。

この4年間、チーム目標を「アジア王者」「世界王者」と掲げてスタッフ・選手一丸となって挑み、世界王者は逃しましたが、皆様のご声援のおかげでアジア王者の座には着くことができました。これは、ろう者サッカーにとって大きな前進だと思っております。

今後、ろう者サッカー日本代表は、アジア王者として「挑戦」を続けて参ります。そして、次こそは「世界王者」の山を登りきって参ります。

皆様の変わらぬご支援ご声援を何卒宜しくお願い申し上げます。